



広がる学びの世界



モスクワ日本人学校

しらかば

第7号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 90名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

「黄金の秋」を心待ちにしながら

校長 石川 賢

時折吹く冷たい風に肩をすぼめながら、往復3km程の徒歩通勤を楽しんでいます。歩道に落ちた葉っぱは見事に掃かれ、とても快適です。黙々と作業を進める人たちに感謝しつつ、「黄金の秋」を心待ちにしています。

短い秋を楽しむ一方で、枯れ葉一枚も逃さず綺麗に掃き集める様子に、「汚れは反秩序」という言葉を重ねてしまいます。

例えば、同じ落ち葉でも、プールに浮かぶ葉っぱは汚れですが、古池に浮いていても汚れとは感じません。プールは泳ぐための施設（という秩序）ですから、そこに浮かぶ葉っぱは「秩序を乱す汚れ」と感じますし、自然のなかにある古池に浮かぶ落ち葉は趣きのあるものと感じます。

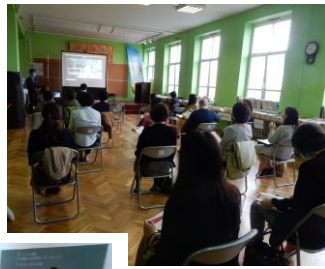
落ち葉のように見える秩序なら問題はありませんが、私たちの心にある秩序となると単純ではありません。

記憶にある方も多いと思いますが、東京のある学校の保護者が、福島原発の事故で避難生活を余儀なくされ転校してきた子どもたちに「放射能はうつる」として差別的な対応を求めたことが社会問題になりました。

しかし、これを科学的な根拠のない戯言と片付けるわけにはいきません。自分たちの「生活の秩序を乱す原発事故(放射能)」を「汚れ」と見なし、それを排除しようとする意識が差別的な言動につながるという問題を含んでいるからです。

学習発表会の練習が始まりました。どの子も意欲的です。子どもたちには、友だちと協働することを通して、創造性や共生的な態度を育ててほしいと思います。そのためにも、子ども一人一人の自律性と多様性を大切にしていきたい。「黄金の秋」を心待ちにしながら思いを強くしています。

ご来校いただき、ありがとうございました ～授業参観・懇談会・修学旅行説明会～



◆授業参観、学年懇談会、修学旅行説明会においでいただき、誠にありがとうございました。授業参観では、伸び伸びと学ぶ様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。

◆小学部と中学部別々に修学旅行説明会を行いました。旅程だけでなく、移動手段・宿泊施設・レストランにおける新型コロナウイルス感染症対策について丁寧に説明させていただきました。

「校外学習」も始まりました

1・2年動物園見学



3年社会科見学



4年農業大学訪問

「モス日授業研究会」がスタートしました

- ◆「モス日授業研究会」がスタートしました。子どもたちに求められる資質・能力を育むために、学習する子どもの視点に立って授業改善を進め、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るための取組です。
- ◆今年度第1回目の9月4日（金）には、教員を子どもに見立てた模擬授業の後ワークショップ研修を行いました。ワークショップでは、授業のどこに子どもの学びが生まれる可能性があるか、どこにまずく要素があるかについて、率直に意見交換しました。



ワークショップ研修で学び合う

生徒指導部より

◆モス日では、左記の「いじめ防止に係る基本的な考え方」に基づき、早期発見・早期対応のための取組として「元氣調べ（小学部）」「学校楽しいーと（中学部）」を実施します。

◆子ども自身の悩みや不安、友だちの様子に関する記述式の項目も設けまます。また、それを基に教育相談を実施することとしています。

(学校いじめ防止基本方針より)

○いじめ未然防止のための取組
いじめを起ささないための予防的取組が最も重要です。本校では、次の生徒指導の三機能を生かした授業づくりや学級づくりを通して、自己有用感を高め、豊かな人間性や社会性を育てていきます。

- ・子どもに自己決定の場を与える。
- ・子どもに自己存在感を与える。
- ・子どもに自己存在感を与える。
- ・共感的人間関係を育成する。

○早期発見及び早期対応のための取組
いじめの兆候は、子どものちょっとした言動や表情、持ち物等に現れてきます。これらのサインを見逃すことなく、初期の段階での発見及び対応に努めます。